



生ゴミ、堆肥の熟成度評価

生ゴミ、コンポスト(堆肥)の熟成度を識別・評価いたします。

コンポスト(堆肥)熟成度評価の必要性

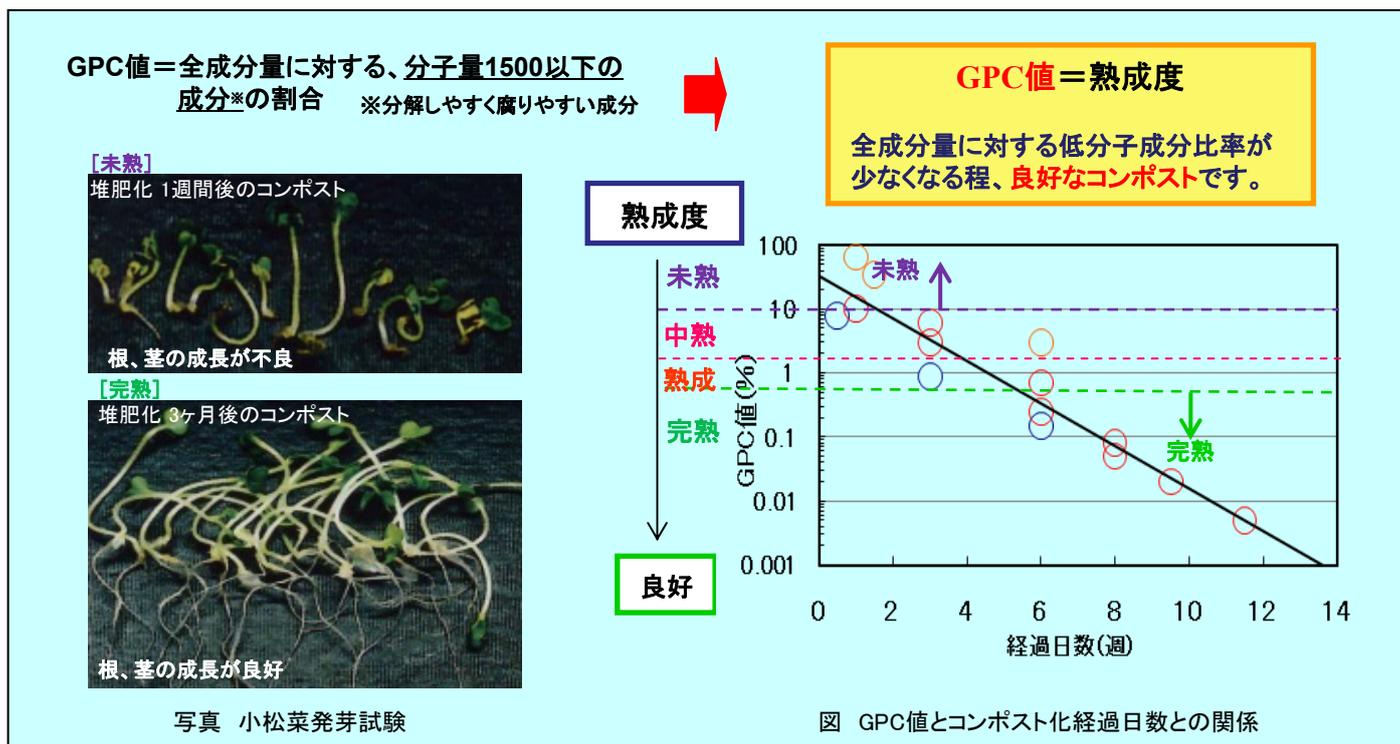
コンポストは、外観観察のみでは未熟・完熟の区別が付きにくいものです。未熟なコンポストは、土壌中で急激な分解・発酵を受け、発酵熱によって植物に障害を与えるおそれがあります。また、作物の種類や使用目的によって要求されるコンポストの熟成度は異なるとされています。従って、熟成度のモニタリングによって生産管理やバラツキの管理など正確な熟成レベルを把握することが必要です。

当社におけるコンポスト評価の特徴

- コンポストは、様々な天然高分子で構成されています。そのため、熟成の進行とともに分子量やその分布が変化することを見出しました。そこで、コンポストからの抽出液について分子量分布を調査すると共に植物の発育試験と対応させ、熟成度を定量的に評価することを実現しました。
- コンポストの未熟～完熟レベルを炭素(C)、窒素(N)量と無関係に評価する事が可能なため、従来法の炭素率(C/N)による熟成度評価では評価が難しいとされている都市生ゴミコンポストや各種堆肥、調整堆肥についても正確な熟成度の評価が可能です。

コンポスト(堆肥)熟成度の評価方法

試料を混合、粉碎した後に水抽出し、高性能液体クロマトグラフを用いてゲルパーミエーションクロマトグラフ(GPC)法により、分子量を測定し、熟成度を数値で示します。



—その他 試験・評価のご紹介—

コンポストの成分分析、溶出成分分析や、肥料取締法に記載の植害試験などの分析も併せてご相談・お問い合わせ下さい。



JFE テクノリサーチ 株式会社

<http://www.jfe-tec.co.jp>

0120-643-777

Copyright ©2013 JFE Techno-Research Corporation. All Rights Reserved.
本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい。